

理工学研究科総合講義C

2010年度 MTS数理科学教育・現象数理コース
社会との関わりを重視する
現象数理学の新展開

第8回

『現象を記述するセルオートマトンモデルの数理構造』 — 超離散化の手法 —

日時：2010年7月15日（木） 開始時刻：14:40～
場所：明治大学生田校舎第二校舎A館2階 A207 教室

松木平 淳太 氏

（龍谷大学 理工学部 教授）

【経歴】

東京大学工学部物理工学科卒業。
東京大学大学院工学系研究科修士課程修了。工学博士。
現在、龍谷大学理工学部数理情報学科教授。

【研究分野】

可積分系、ソリトン、超離散系、セルオートマトン。



2010年度 明治大学大学院教育改革支援採択プログラム

「社会に数理科学を発信する次世代型人材創発」

<http://gp.math.meiji.ac.jp/>



明治大学大学院理工学研究科
連絡先：上山大信 (daishin@math.meiji.ac.jp)